

# イチャオシ!

## M OVIE

### 『オロ The boy from Tibet』

「しっかり勉強するんだよ」。そう母親に背中を押され、主人公の少年オロが命がけでヒマラヤを越えてチベットから亡命したのは6歳の時。インド北部の街ダラムサラで、チベット亡命政府がチベット文化継承のために運営する教育機関「チベットこども村」に暮らしている。なぜ母は、愛する息子を異国へと旅立たせたのか。その答えを自力で探し求める一人の少年の悲しみやよろこびを追ったドキュメンタリー。



© OLO Production Committee

2012年／日本／108分

監督：岩佐寿弥

公開：6月30日(土)より、東京・渋谷ユーロスペースほかにて全国順次公開

URL：www.olo-tibet.com

配給：ユーロスペース TEL：03-3461-0211

## E VENT

### 『世界報道写真展2012』

今年1～2月にオランダで開かれた「世界報道写真コンテスト」の応募作品の中から約170作品を展示。イエメンのデモで負傷した息子を抱きかかえる女性を写した大賞受賞作のほか、リビアのカダフィ政権への反乱、密猟で角を奪われたサイ、そして東日本大震災による津波のつめ跡など、2011年の決定的瞬間をとらえた作品が並ぶ。世界トップクラスの報道写真を通して、今まさに世界各地で何が起きているのかを学べる貴重な機会になるはず。

会期：6月9日(土)～8月5日(日) 10～18時(木金は20時まで) 月曜休館

会場：東京都写真美術館 TEL：03-3280-0099

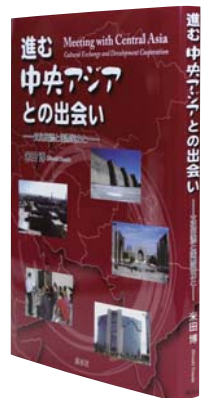
URL：www.asahi.com/event/wpph

※8月以降は大阪、京都、滋賀、大分を巡回

## B OOK

### 『進む中央アジアとの出会い —文化交流と国際協力と—』

JICAの支援を通じて、アジア8カ国に設置されている日本人材開発センター。近年成長著しいアジアの市場経済化に貢献する人材育成に加え、日本語教育や文化交流事業を通じて、日本との相互理解を図る上で重要な拠点にもなっている。2009年にウズベキスタン日本人材開発センターの所長として赴任した著者は、ウズベキスタンはもちろん、急速に開発が進み変貌を遂げる中央アジアの姿を見てきた。現場ではどのような国際協力が行われていたか、そして同地域へのJICAの支援が日本にとってなぜ大切なのか考察した一冊。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

米田博 著  
溪水社  
1,890円(税込)

## B OOK

### 『「共に生きる」をデザインする グローバル教育 教材と活用ハンドブック』

ヒト・モノ・カネが自由に移動することが可能になった現代社会。戦争や貧困、環境などの問題は、もはや他人事ではない。こうした地球規模の課題解決に向けて、物事をグローバルに考え、行動できる人材を育成するのが「グローバル教育」だ。未来を担う子どもたちが世界のさまざまな価値観に触れることでコミュニケーション能力を高め、国内外で活躍できる人材に育ててほしい。そんな教員の声に応じて、「グローバル教育」の実践方法が書かれたのが本書だ。教材として使えるプリントが収録されたCD-ROM付きで授業に生かせる情報が満載。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

NPO法人全国国際教育協会 監修  
メディア総合研究所  
1,995円(税込)